

ご挨拶

第 26 回日本語教育連絡会議はチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学の教育学部キャンパスに程近くダーダネルス海峡に面したアコル・ホテルで開催されました。

チャナッカレで日本語教育関係の国際的な会議が開かれるのは 2008 年の「第 13 回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム」以来でした。それで、久しぶりの日本語教育の会議ということで、特にチャナッカレの教員にとって、今回の連絡会議は得るところの多い機会となりました。また、意義深いこととして、教員のみならず、向学心とサービス精神に富んだ学部生や卒業生らも会議を支える立場で出席し、参加者の皆様とともに充実した時間を過ごすことができました。

その一方、距離の遠さと時期の関係で、直前まで準備を進めてくださっていたにもかかわらず、残念ながら参加を断念された方々も少なくありませんでした。2008 年には利用できた空の便が今回は運休中であり、空港のあるイスタンブルからの交通手段は片道 6 時間の高速バスだけでした。また、記録を繙いてみますと、9 月開催は連絡会議史上初めてのことであったようです。国によっては夏休みが終わってしまっているということで、参加していただくことができませんでした。

そういった事情もあり、今回は例年と比べて規模の小さな会でした。そうであればこそ、この論集を通して、会議に参加できなかった皆様とも情報を共有できるのをうれしく思います。ここに改めて、準備の段階で相談に乗ってくださった「お世話会」の先生方、一緒に準備を進めてくださったチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学の同僚各位、遠路はるばる駆けつけてくださった参加者の皆様方、そして、論集の編集を担当して下さっている若井誠二先生に心よりお礼申し上げます。

チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学

高橋 知也